

万博・IR カジノ関係の陳情書 4 通提出

昨日 22 日午前、8 階の議員控室で陳情書を提出した。毎回のことで、受付の人とも顔馴染みである。市会事務局から担当者がすぐに来て、陳情書を受け取ってくれた。

今回初めて 4 通も提出することにした。それだけ大阪市の行財政に疑問を感じており、大切な機会として陳情書を準備してきた。締切は 24 日だが、念のため早めに持参することにした。4 通の陳情書は次のとおり（順不同）。

- 大阪・関西万博の規模縮小・コスト削減、競合する IR 工事中止を求める陳情書
- 夢洲 IR カジノ実施協定等を全面公開して慎重審議を求める陳情書
- 事業者のいない大阪 IR「環境影響評価準備書」説明会と条例見直しを求める陳情書
- 夢洲土地造成事業収支の健全化と夢洲の物流機能維持を求める陳情書

この陳情書タイトルを見て、疑問に思った人もいるのでないか。まず最初の陳情書であるが、山田は大阪・関西万博に反対ではないのか、規模縮小・コスト削減だけでいいのか、といった文句が出そうである。私は夢洲での万博開催を批判し、会場変更などを求めてきた。夢洲という軟弱地盤の人工島で開催することで、国民とりわけ大阪市など地元負担膨張の構図に警鐘を鳴らしてきた。それは今でも変わらない。

万博反対の陳情書を提出しても、大阪維新の会が過半数を占める委員会で実質審議もなく、反対されるのは目に見えているので、あえて中途半端なタイトルにした。14 日の万博推進特別委員会を傍聴して入手した公明委員提出の資料と発言に注目して、万博と競合する IR カジノ工事中止を求めることにした。公明委員は万博終了までの IR 工事延期を主張したが、それを「中止」に変えた。公明委員がどのように私の陳情書に対応するか聞きたいものだ。

3 つ目の大阪 IR「環境影響評価準備書」説明会についても説明しておこう。11 日の「説明会」には、今も腹を立てている。京都の重要な会議を中座して、会場に駆けつけたにも関わらず、主催者で事業者である大阪 IR 株式会社からは一人も出席していない。会場は紛糾し、参加者の大半が退席した。私も会場で事業者がいない「説明会」は成立しないと訴えて、迷いながらも退席した。会場では一方的な説明が続いた。

すでにレポートしたが、大阪市環境局に電話して「説明会」が大阪市環境影響評価条例に反するのではないか、大阪市はこのような「説明会」を了承したのか確認した。環境局の担当者は、条例には事業者の参加・説明は求めている、環境局として了承はしていないとのこと。その後 2 回「説明会」が実施され、参加者との質疑も行われたようだ。私が参加した「説明会」不成立を主張しても、明確な質疑や回答が得られないと考え、条例見直しに絞って環境局の見解を質すことにした。

議会事務局に確認すると、万博と IR カジノは 12 月 5 日の都市経済委員会、港湾関係と環境アセスは、8 日の建設港湾委員会で審査される。ぜひとも傍聴に出かけたい。

(2023 年 11 月 23 日)